

ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 140 号

(初刊：2011 年 11 月 6 日)

発行日：2023 年 06 月 10 日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

梅雨の到来を思わせる中で

5 月の定例作業日 (5/30) は、

未明にパラついていた雨は夜明けと共にやんで、ドンヨリ空模様でしたが、作業開始頃から時おり薄陽も差すようになってきました。いよいよ梅雨期の到来のようです。

当日の参加者は 22 名。ゴミ拾い班 8 名と林内班 14 名で作業を実施しました。

ゴミ拾い班は、オオブタクサ除去を主目標に出発。東西通りをすすみ、東京狭山線沿いにて散乱ゴミを收拾し、シェルター北側のオオブタクサ撤去に大方の目安がつくまで取り組み、サッカー場を経由し、「湿地」へ。やや湿り気ある状態でした。ここで、ミゾコウジュという珍しい湿生植物の群落などを確認。この後、新園路から中央通りを戻りました。コース記号は、イ・K・L・I・F・G・O・P'・a・a'・i・ロ・i・j・L・K となります。

食事会は、10 人ほどの参加でしたが、「カルチャーパークを考える未来会議」について話し合いました。



[5/30 集合写真]

まずは三浦さんからです。

『予報では最高気温が 25 度、大型台風による前線刺激の影響もあつてか蒸し暑い。集まったのは初参加（所沢カルチャーパークを考える未来会議関係者）の 3 人、社会貢献企業からの青年男子 4 人を加え総勢 22 人。

内訳は女性 8 人、男性 14 人と今年一番の多さだ。恒例の準備体操、集合写真と進み、班分けではゴミ収集班 8 人、林内班 14 人となった。

昨夜から朝にかけて降った雨で森が濡れていると思ったが、大丈夫だった。無風、蒸し暑さのため汗をかくことを除けば大きな支障はなさそうだ。林内班はリヤカーに所定の資器材を積み、桜木神社通り近くに荷物置き場を設けた。

作業開始前に全員には、今日の主な作業は林内に大量に残っている幹や枝葉類の運搬が主な作業である旨お願いした。

市のパッカー車が運び出す集積地には前回の枝葉類が残っていたが、その同じ場所に運搬してもらう事にした。作業態勢は刈り払い機 3 台、チェーンソー運転を除いた 11 人全員が運搬に従事となり、リヤカーも動員しての一丸となった大運搬作戦は効を奏し、思った以上の成果を

上げる事が出来た。

この場所での作業もそろそろ終盤局面を迎えるが、ここが終わったら最初の地点に戻りたいと考えている。どのような作業をするかは未だ決まっていないが、この間関わってきた人達の意見を聞き決めたいと考えている。

この日気づいたこと、市による「ナラガレ処理」が依然続いており、重機による大がかりな伐採であり、至る所に山のようには大口径の丸太が積まれており、被害の大きさを物語っていた。重機による踏み跡は林床を著しく荒らしておりとても残念だった。

伐採跡の様子から分かったことは、伐採されたのは「ナラ枯れ」の樹だけでなく経年による老樹も含まれており、規模の大きさは考えていた以上に深刻だったことが窺えたこと。作業は今年 9 月まで続くようだが、今後どの位の規模になるのかは不明だが大きな関心を持って様子見したい。

もう一つは、前回 5 月 11 日の活動日に発見した「6 つの卵」のその後のこと。残念ながら跡形もなく消えており、孵化して巣立ったのか、そうで無いか？見た限りでは判明できな

かった。第一発見者のK女史から「雉子」の卵ではと一旦は特定したものの、その後気になり図鑑か何かで調べたところ「キジ」でなく「コジュケイ」かもと知れないとの話があった。ネットで調べて見たところ「コジュケイ」はキジ目、キジ科、コジュケイ属に分類される鳥であり、一見してキジとよく似ており確かに紛らわしい、逃げ去る鳥を咄嗟に判別するのは難しかったことが分かる。次の出遭いに期待したい。

因みにコジュケイの鳴き声は「ちょっとこい！ちょっとこい！」と聞こえる鳴き声から飲食店や商売人に喜ばれる鳥であるらしい。以上報告です。』



[5/30 林内作業班]



[5/30 林内作業-1]



[5/30 集積]

次いで、**水島さん**からの報告です。

『深い緑に覆われた林の中をゴミ拾い班は8人で出発しました。』

スタートの時に深澤さんから今日は「オオブタクサ」取りを行います、との話を聞いただけで背中に汗を感じました。その予想とおりに狭山線沿いに群生した「オオブタクサ」取りと格闘して大汗をかきました。

「憎きオオブタクサ👁👁！」と掛け声をかけながら引き抜きましたが、とたんに汗が噴き出してきて、シャツがびしょ濡れになりました。テニスを1ゲームたっぷりプレイしたのと同じくらい良い運動になりました。

今日の服装の反省点は、着替えのアンダーシャツを用意する事、長袖を着てくること（半そではチクチクと草の葉が刺さる）と、靴下も履き替えを用意する事（雨露で登山靴の中も濡れるので）でした。

湿地にはほとんど水気はありませんでしたが「ミゾコウジュ」という珍しい野草を教えてくださいました。これだけ在来種のある湿地は貴重ですねとの同行の方の話を聞いて、湿地でも水があるのとないのとでは、植物の生態系も違うのだと教えていただき、なるほどと感心させられました。

昼食会は10人ほどの参加でしたが、スマイルの木村さんから「未来会議」の説明がありました。

広報「ところざわ」6月号に「所沢カルチャーパークを考える未来会議に参加しませんか」の記事が出ています。

第1回は7月25日(火)午後7時30分から8時30分までZOOMであります。

私達のこれからの活動に大きな影響が出てくると思われますので、出来るだけ多くの方が参加されると良いと思います。』



[5/30 オオブタクサ除去に挑戦]



[5/30 ミゾコウジュ]



[5/30 ゴミ拾い班]



[5/30 ゴミ集約]


~~~~~

### 5月の第二作業日(5/11)、

朝はすがすがしい天気でしたが、次第に雲行きが怪しくなってきました。自転車で来られた方の中には、帰途でかなり降られた方もいたようです。

当日の参加者は8名。ゴミ拾い班と林内班の各4名で作業。

ゴミ拾い班はオオブタクサ除去も念頭に出発。東西通り（新園路交差点手前の北側）にてオオブタクサを発見除去。東京狭山線沿いにて散乱ゴミを収拾。シェルター北側のオオブタクサ撤去（およそ半分）。その後サッカー場を經由し、「湿地」の確認（カラカラでした）、霊園通り、桜木神社通り、中央通りともどりました。コース記号は、イ・K・L・I・F・G・O・P'・a・a'・i・ロ・C・U・C・B・j・L・K となります。



[5/11 集合写真]

林内班の**三浦さん**からの報告です。『この日集まったのは女性3人、男性5人と全部で8人と少なかった。我々の活動はいつもフレキシブルな対応をしているので支障は生じないが一寸少ない感じだ。

準備体操、写真撮影後は班分け、園内巡回班4人、林内班4人に別れてのスタートとなっ

た。

林内班はいつも通りリヤカーを曳いて桜木神社近くにて休憩拠点を置く。このエリアは何度も繰り返し整備をしてきたが未だに片付いていない。既に常緑の立木や小灌木の殆どは伐採し見通しの利く林に変化したものの作業エリアが一番広がった分伐採枝葉類も多かったからである。それだけに参加者数の多寡は、作業の進捗に大きな影響を及ぼす事は身にしみて感じてきた。

3月末には何とか目処を付けたいと思いつつそうならなかったのは、こうした事情があったからである。あと1回か2回で区切りを付け作業地を変えたいと考えている。

この日は4人のうち一人は刈り払い機とチェーンソーによる林床の笹や切り株の処理、大きな幹の玉切り、残る三人には運搬をお願いした、少しでも負担を減らすため運搬優先でなく枝葉類を最寄りの場所に集める程度にして貰った。終わって見れば少ない人数なりの成果を上げる事が出来た。

作業中、貴重な発見があった。伐採した枝葉類を集め積んであった所に鳥の卵が6個見つかったこと。偶然見つけたK女史人によると近くへ行ったら「雉子？」と思われる親鳥が逃げていったので多分「雉子の卵」ではないかとのこと。こんな林の中に？と思いつつその場所へ行き上からソーツと眼をこ

らして見ると柴の隙間から卵が6個見えた。どうしてこのような場所と思う位無防備な状態で覆いも無く雨が降ったら巣は濡れるは、雛が孵るか危ぶまれるだけでなく外敵のカラス、蛇に襲われないか心配されたので、周りから小枝を集め覆い隠してあげた。この程度で雛が無事育つかどうかは分からないが生き物の本能、自然の摂理に委ねるしかないと判断。あとは親鳥に任せ無事育ち巣立ってくれる事を祈った。次回は真っ先に確かめに行こうと思っている。』



[5/11 林内班]



[5/11 林内作業]



[5/11 タマゴのあった付近]



[5/11 オブタケ除去に挑戦]



[5/11 ゴミ集約]

## 6月の作業予定

定例作業日: 6月27日(火)

第二作業日: 6月13日(火)

作業時間: 9:30~11:30

### \* 作業内容:

ごみ拾い・林内作業

\* 持ち物: 手袋、タオル、雨具、  
飲み物、念のため、保険証・  
お薬手帳など

### 6/27 は弁当(作業終了後昼食会)

荒天など天候不順の場合は、  
事前に中止連絡しますが、微妙  
な場合現地にて判断します。

判断に迷うときは、深澤まで  
[090-8014-3310]連絡下さい。

5/30に湿地に行った際、冒頭  
にも述べたように貴重な湿生植  
物の存在を教えてくださいまし  
た。ミゾコウジュ以外にもヌマ  
ノトラノオ(写真)も教えていた  
だきました。これまで、「湿地=  
池=トンボ・カエル」と考え、  
「水を溜める」ことばかり主眼  
としてきましたが、もっと幅広  
く自然をとらえていかないとい  
けないと気づかされました。  
学習が必要ですね。



[5/30 ヌマノトラノオ]

### コロナ対策の基本について

WHOは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了しましたが、同時に「ウイルスは命を奪い続け、変異も続けている。宣言の終了をもって各国は国民に、新型コロナは心配ないというメッセージを送ってはいけない」と述べています。なお、まだパンデミック宣言は終了していません。ということで従来の予防策に準じた行動を基本とします。

### 感染予防対策、

- ・ 間隔をとっての行動。(体操・作業)
- ・ マスク着用: 各自の判断とします。
- ・ 作業間隔の短縮・水分補給。
- ・ 使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。  
なお、石鹼・消毒用アルコールは準備しています。
- ・ 定例作業日の食事会については、定例作業日に実施します。

### 新型コロナ発生時の対応策

- ① 毎回参加者名簿(連絡先電話番号入り)を作成する。
- ② 次の場合その都度、代表へ連絡する。(発信元は伏せて参加者に知らせる)  
イ. 症状があり、検査を受けた時。  
ハ. 検査結果と医師・保健所などの指示
- ③ 陽性者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。

## 7月以降の作業予定日-

7/11(火) 7/25(火: 定例)

8月は現場作業を休止します。 8/下旬(未定)に応援隊懇談会を実施します。  
懇談会後の納涼会実施については、状況を見て判断します。

9/12(火) 9/26(火: 定例) 10/12(木) 10/31(火: 定例)

11/14(火) 11/28(火: 定例) 12/12(火) 12/19(火)

終了後の忘年会については、状況を見て判断します。

2024年

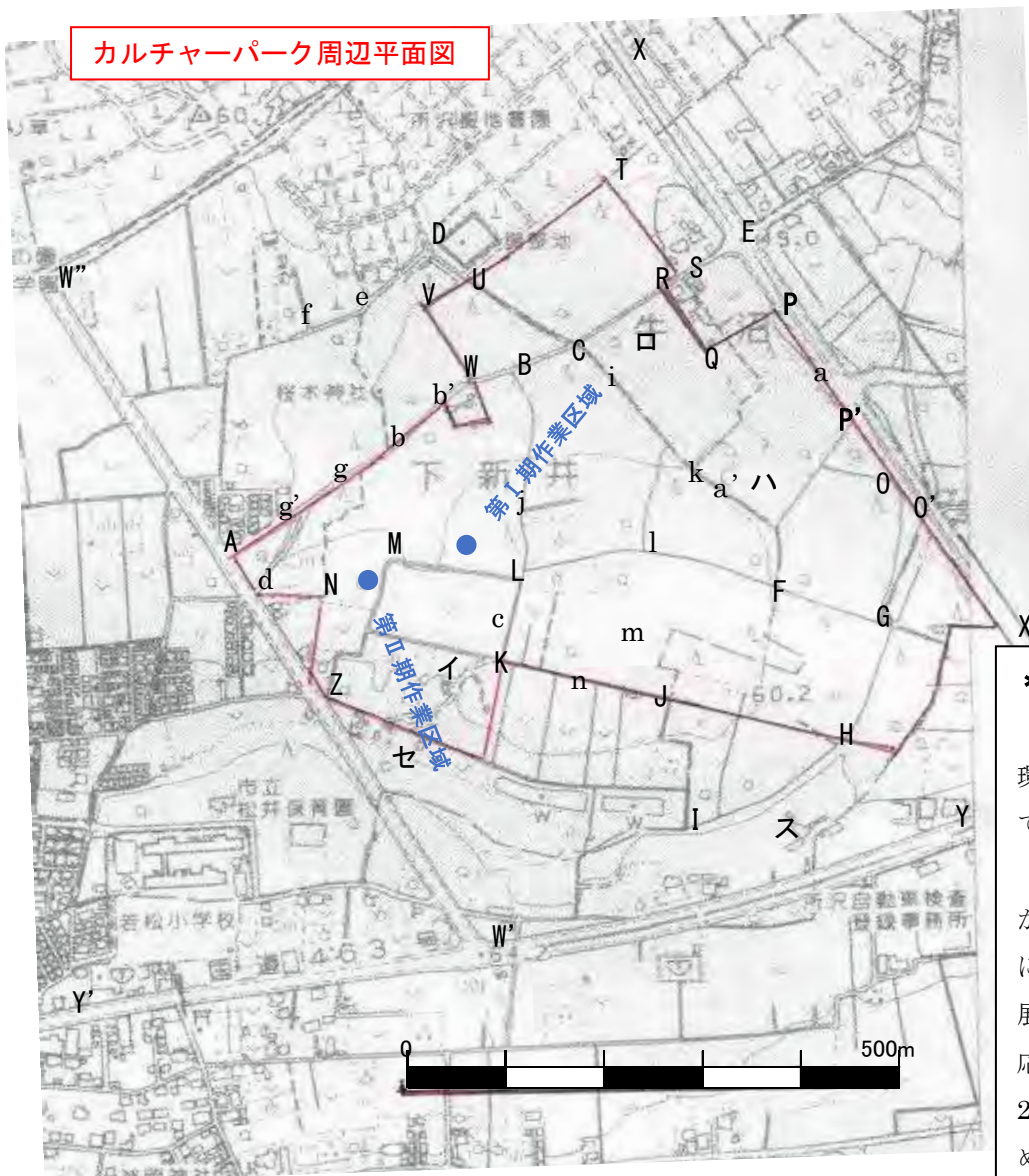
1/11(木) 1/30(火: 定例) 2/13(火) 2/27(火: 定例)

3/12(火) 3/26(火: 定例)

\*3月の中～下旬に応援隊の総会的懇談会を実施します。



カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺 名称

|                          |           |                  |
|--------------------------|-----------|------------------|
| 地点名                      | イ         | 現在のデイキャンプ場       |
|                          | ロ         | 湿 地              |
|                          | ハ         | 現在のサッカー場         |
|                          | セ         | 特養、グループホーム       |
|                          | ス         | 産 廃              |
|                          | E         | 交差点「開発」          |
|                          | W'        | 交差点「牛沼」          |
| 通り名                      | X-E-X'    | 県道東京狭山線          |
|                          | W'' -A-W' | 市道 カルチャーパーク通り    |
|                          | Y-W' -Y'  | 国道               |
| 園内通り名<br>(仮称の<br>たたき台です) | A-B-C-E   | 桜木神社通り           |
|                          | D-C       | 霊園通り             |
|                          | C-F       | サッカー場通り          |
|                          | B-L-K     | 中央通り             |
|                          | L-F-G     | 東西通り(L-F:フラワー通り) |
|                          | G-H       | 東通り              |
|                          | K-J-I     | 農道               |
|                          | I-H       | 産廃裏通り            |

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。  
皆さんからの御意見をお寄せください。

### \*この「応援隊」は

所沢市民大学 18 期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」にのっとった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

### 定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広がっています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

**追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。**

### \*お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の 5 日**までに深澤まで送ってください。よろしく。